

【スラッシュメガホンマフラー】

適合車種 Kawasaki Z900RS / Z900RS CAFE Parts No.189-2101/2105/2111

取り付け説明書

この度はスラッシュメガホンマフラーをご購入いただき、誠にありがとうございます。

安全にお使いいただくため下記内容を必ずお読みください。

1. 製品を取り付け・ご使用の前に、本説明書及び同梱のコーチョンラベルをお読みください。
2. 各部品の締め付けトルクなどは、車両メーカーが発行するサービスマニュアルをご参照ください。

キット内容		
①	エキゾーストパイプ #1~#4	1 set
②	コレクター	1 pc
③	ミドルパイプ	1 pc
④	テールパイプ	1 pc
⑤	マフラーースプリング	8 pc
⑥	エキゾーストガスケット	4 pc
⑦	エキゾーストフランジナット	8 pc
必要工具		
4mm 六角レンチ		
10mm・12mm 六角ソケットレンチ		
モンキーレンチ		
スプリングフック		
プラスチックハンマー		



*付属品の内容をご確認ください

【取り付けの前に】

- ・本説明書は、基本的な車両整備の知識や技能のある方を対象に解説しております。
また車両のサービスマニュアル書も参照の上作業を行ってください。
- ・作業する際には、エンジンを十分冷ましてから行なって下さい。また、スタンド等を利用して水平な場所で車両を安定させて作業を行ってください。
- ・エンジン始動による騒音や発熱、排気ガスでの中毒や汚染など、ご自身や周囲への安全の確保およびマナーと配慮を心掛けて下さい。
- ・走行時に脱落などのトラブルが発生しないよう、各部の締め付けは十分確認して下さい。
- ・走行中振動によりボルト類が緩む事がありますので、定期的に点検と整備を行って下さい。
特に転倒後は緩みやすくなりますので必ず点検して下さい。
- ・車両にスイングアーム、ステップ等の改造がありますと装着出来ない場合があります。
改造による取付け不良や破損等の返品はお受け出来ませんのでご了承下さい。
- ・転倒歴のある車両では取付ける事が出来ない場合があります。確実に取付ける事が出来ない場合には、本製品を使用しないで下さい。

取り付け手順

【 01 純正マフラーの取り外し 】

- サービスマニュアルの手順に沿って純正マフラーとO2センサー、O2センサーガードを取り外します。

※純正マフラーは重量があるので、取り外しの際は落下などに気を付け作業してください。

※O2センサーを外す際はねじれおよび断線防止のため、サイドカバーを外しカブラーを抜いてからの作業をお願いいたします。

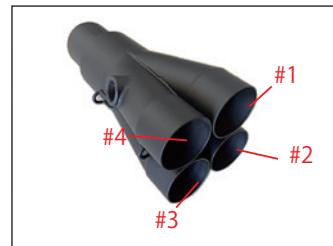
- 使用工具：**4mm 六角レンチ、10mm/12mm 六角ソケットレンチ
モンキーレンチ**



【 02 エキパイの組み立て 】

- コレクター差し込み口の内側へカッパーグリスもしくは液体ガスケットを塗布し①エキゾーストパイプを画像位置に差し込みます。

※エキゾーストパイプには#1～#4の刻印が入っています。



- エキパイとコレクターのフック部（4箇所）に⑤マフラーフックを取り付けます。

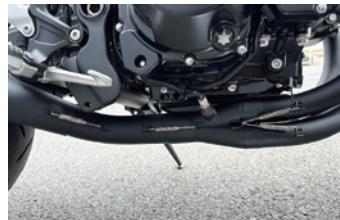
- 使用工具：**スプリングフック**



取り付け手順 (続き)

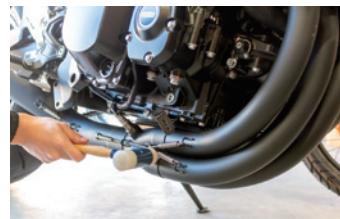
【 03 車体への取り付け 】

- エキゾーストポートへ⑥エキゾーストガスケットを使用し、
①エキパイを差し込み⑦エキゾーストフランジナットを
使用し仮止めします。 ※ナットの締め過ぎにご注意ください。
 - ③ミドルパイプ→④テールパイプの順に、差込口内側へカッパ
ーグリス、もしくは液体ガスケットを塗布し②コレクターへ
差し込み取り付けます。
 - 各フックへ⑤マフラースプリングを取り付けます。
※画像はO2センサー取り付け後のものを使用しています。
 - STDボルト、ナットを使用しテールパイプを仮止めします。
 - O2センサーをコレクターへ仮止めし、カブラーを接続します。
- 使用工具：10mm/12mm 六角ソケットレンチ、モンキーレンチ
スプリングフック



【 04 締め付け 】

- エキパイ、コレクター、テールパイプの接続が完了後、本締めを
する前に、プラスチックハンマーなどで振動を加え、各嵌合部に
ストレスが無いことを確認し、以下の順序で締め付けます。
 1. エキゾーストフランジナット 締め付けトルク：25N/m
 2. テールパイプ取り付けボルトナット 締め付けトルク：25N/m
 3. O2センサー 締め付けトルク：45N/m



- 使用工具：4mm 六角レンチ、10mm/12mm 六角ソケットレンチ
モンキーレンチ、プラスチックハンマー

【 05 動作確認 】

- 各ボルト、ナットの締め忘れを確認し、エンジン始動前に市販の中性洗剤でマフラーに付いた皮脂や汚れを洗浄(※)してください。
エンジンを始動し各部の排気漏れがないことを確認してください。
(※)パーツクリーナーのような脱脂材を含む洗浄材は表面の塗膜を溶かす場合がありますので使用を控えてください。

⚠ 注意

エンジン始動後は慣らしのため、10分程度のアイドリング、もしくは軽く走行してください。

その際、5000rpm以上の高回転等で高温になると、塗膜が剥離する場合があるためご注意ください。

※マフラー交換後しばらくは右写真のように白い排気ガスや水蒸気が出ますが、製品上は問題ありません。



【 06 メンテナンス/定期点検 】

- 走行による汚れは、市販の中性洗剤をご使用ください。
パーツクリーナーのような脱脂材を含む洗浄材は表面の塗膜を溶かす場合がありますので使用を控えてください。
- 取り付け後 (約100km) 再度各部点検を行い、改めて増し締めを行って下さい。
- 500km毎に、各部ボルト類の緩みや、各部品に異常が無い事を確認してご使用下さい。



製品に関するご不明点等ございましたら、購入店もしくは株式会社ピーエムシーまでお問合せ下さい。

株式会社ピーエムシー

〒656-2131 兵庫県淡路市志筑 3071

Tel0799-60-0101 E-mail : info@win-pmc.com

営業時間：月曜～金曜 + 第2・4 土曜日 9:00～17:00
(第1・3・5 土曜、日曜、祝日は定休日)

